

YCU 第2クォータープログラム 派遣学生報告書

氏 名	R.N	学部・学科	国際教養学部 国際教養学科
学 年	2	派遣国	韓国
派遣大学	高麗大学		
コース名	Dコース：サマースクール		
期 間	2026年 6月26日～2026年 8月7日		

(1) 授業や課題、演習はどのような内容であったか。(800字程度)

(可能な限り具体的に、印象に残った授業などの説明があるとよい)

私が受講した授業は「Beginning Korean I」であり、韓国語をほとんど学んだことのない学生を対象とした初級韓国語の授業であった。授業では、韓国語の基礎を体系的に学びながら、日常生活で必要となる基本的なコミュニケーション能力を身につけることを目的としていた。使用教材は高麗大学の韓国語教材であり、授業は主に韓国語で進められ、必要に応じて英語による補足説明が行われた。

授業の前半では、韓国語の文字であるハングルの母音や子音、音節の構成方法について学んだ。最初は文字の形や発音に慣れることが難しかったが、繰り返し読み書きの練習を行うことで、簡単な単語や文章を読めるようになった。その後は自己紹介をテーマとした学習に進み、国籍や職業を説明する表現、「～です」にあたる文法などを学んだ。授業ではペアワークが多く取り入れられており、実際にクラスメイトと会話しながら表現を身につけることができた。

中盤では、日常生活に関する表現を中心に学んだ。自分や相手の行動について質問したり答えたりする会話練習を行い、動詞の活用や目的語の表現などを学習した。また、学校生活や日常の状況について話す演習も行われ、実践的な会話能力を養うことができた。授業では単に文法を暗記するだけでなく、実際の会話の中で使うことが重視されていたため、学んだ内容をすぐに活用できたことが印象的であった。

後半では、場所の説明や買い物の場面を想定した学習を行った。どこへ行くのか、どこで何をしているのかを説明する表現や、物の有無を尋ねる表現などを学んだ。これらは実際に韓国で生活する際に役立つ内容であり、留学生活の中でも活用する機会が多かった。課題としては授業内容の復習や会話練習、語彙の暗記などがあり、継続的な学習が求められた。また、参加点の割合も高かったため、積極的に授業へ参加し、発言することが求められる授業であった。

(2) 授業を受けてどのような知識等が得られたか。(500 字程度)

この授業を通して、韓国語に関する基礎的な知識と実践的なコミュニケーション能力を身につけることができた。まず、ハングルの読み書きができるようになり、簡単な単語や文章を理解できるようになったことは大きな成果であった。留学前は韓国語を目にしてもほとんど理解できなかったが、授業を受けた後は看板やメニューを読める場面が増え、現地での生活がより充実したものになった。

また、自己紹介や日常会話、買い物などの基本的な会話表現を学んだことで、韓国語で簡単なコミュニケーションを取ることができるようになった。特に、実際の生活で使用する表現を中心に学んだため、授業で学んだ内容をそのまま韓国での生活に活用できたことが印象に残っている。

さらに、韓国語だけでなく異文化への理解も深まった。授業には様々な国や地域から学生が参加しており、演習や会話活動を通じて多様な価値観に触れることができた。また、授業は韓国語を学ぶだけでなく、韓国社会や文化への理解を深めるきっかけにもなった。その結果、語学力だけでなく、異文化環境でコミュニケーションを行う姿勢や積極性も身につけることができた。

(3) 授業を受ける前・受けた後でどのように（気持ちなどが）変化したか。(400 字程度)

授業を受ける前の私は、韓国ドラマや韓国のコンテンツに触れる中で、あいさつやよく使われる単語などを少し知っている程度であった。しかし、実際に韓国語で会話をしたり、自分の考えを伝えたりすることには自信がなく、韓国語がどの程度通用するのか不安を感じていた。また、海外の大学で授業を受け、多国籍の学生と交流することにも緊張していた。

しかし、授業を受けた後は韓国語に対する苦手意識が大きく減少した。授業ではハングルや基本的な文法を体系的に学び、会話練習を重ねたことで、ドラマで聞いたことのある表現や単語についても理解が深まった。また、簡単な韓国語であれば自分から話しかけたり、意思疎通を図ったりすることができるようになり、自信につながった。

さらに、授業においては韓国語の習得を主な目的としていたが、実際の生活においては英語を使って世界各国の学生と交流する機会も非常に多かった。そのため、語学学習は単に言語を学ぶことではなく、人と関わり、異なる文化や価値観を理解するための手段であることを実感した。留学前と比べて、語学学習に対する姿勢がより積極的になり、新しい環境にも挑戦してみようという気持ちが強くなった。

(4) 今後どう生かしていくか。どのように学業を進めていくか。(300 字程度)

今回の授業を通じて得た韓国語の基礎知識を継続的に学習し、今後はより高いレベルの韓国語運用能力を身につけたいと考えている。また、実際に留学生活の中で英語によるコミュニケーション能力の向上も実感できたため、韓国語だけでなく英語学習にも引き続き力を入れていきたい。

さらに、多国籍な環境で学んだ経験を生かし、今後の大学での学習においても国際的な視点を持ちながら物事を考える姿勢を大切にしたい。今回の留学で得た語学力や異文化理解の経験を、将来の進路やキャリア形成にも積極的に活用していきたいと考えている。